

第2号議案

平成19年度事業報告

きょうと食育ネットワークの取組状況（平成19年度）

1 「きょうと食育ネットワーク」の結成

結成日：平成19年6月6日

会員数：84団体（H20.5現在）

2 普及・啓発事業

◆11月を「きょうと食育強化月間」と定め、「朝ごはんを食べよう」を統一テーマとした。朝ごはんについてのHP、チラシを作成。

◆公募により食育マスコットキャラクター及び食育標語を募集。審査の上、採用作品を決定。

食育標語・・・「おはようのキミの笑顔と朝ごはん」

食育マスコット・・・愛称「なす坊」



◆「きょうと食育シンポジウム」の開催

日時：平成19年11月17日（土）13:30～16:30

場所：ハートピア京都

内容：○基調講演（テーマ：大切！子どもへの食育～大学生の食生活実態から～）

講師：友藤 弘子 氏（NPO法人地域に根ざした食・農の再生フォーラム理事）

○パネリスト（テーマ：子どもへの食育を考える）

コーディネーター：今里 滋 氏（同志社大学大学院教授（ネットワーク代表））

パネリスト：十川 洋美 氏（JA京都中央会専務理事）

中村 節子 氏（京都府教育庁保健体育課指導主事）

伴 亜紀 氏（宇治田原町立保育所栄養士）

藤田 晶子 氏（リビング京都編集長）

○表彰：食育標語、食育マスコット入賞作品

◆イベント出展による啓発（ネットワーク会員団体の連携）

あけぼのフェスティバル、農林水産フェスティバル

3 情報の収集及び情報提供

◆ネットワーク用HPを開設し、会員からのお知らせ等を掲載。京都府発行のメルマガ（隔週発行）にネットワークからの情報を掲載。

◆食育支援活動などを記載した、会員間で情報が共有できる会報誌「きょうと食育ネットワーク通信」を作成・配布。

4 食育事例の紹介及び取組の拡大

◆H19.12に「きょうと食育事例集」を作成、農林水産フェスティバルで配布。57事例を掲載。

◆農林水産フェスティバルにおいて、「きょうと食育事例発表会」を開催（2事例）。

5 総会等の開催

(1) 結成総会

- ◆日時 平成19年6月6日(水曜日) 14時～16時
- ◆場所 京都府公館 レセプションホール(京都市上京区烏丸通一条下る)
- ◆内容 あいさつ 今里同志社大学大学院教授(結成発起人代表)
小石原京都府副知事(結成発起人)
結成議案の審議 規約、役員、事業計画
- ◆併催行事
 - ・食育話題提供
講師：大谷貴美子氏(京都府立大学教授)
 - ・会員交流会(取組事例の発表)
発表団体：京都府食生活改善推進員連絡協議会、食育キャラバン隊

(2) 役員会、幹事会

- ◆平成19年9月7日(幹事会)
 - 幹事長選出(富田幹事長(京都府立大学助教))
 - マスコットキャラクター・標語の選考
 - 強化月間の取組について
 - ・シンポジウム
 - ・各会員主催のイベント
 - ・京都府農林水産フェスティバルへの出展
 - 京都府食育推進行動計画の点検依頼など
 - 福岡食育祭について
- ◆平成19年9月14日(役員会)
 - 9月7日幹事会の概要報告
 - 福岡食育祭の紹介
- ◆平成20年3月27日(幹事会)
 - 19年度京都府食育推進行動計画の実施状況について
 - 19年度の取組について
 - 通常総会の開催について
 - 20年度事業計画について
- ◆平成20年4月25日(役員会)
 - 3月27日幹事会の概要報告

きょうと食育シンポジウム 概要

- 1 日時 平成19年11月17日(土) 13:30~16:30
- 2 場所 ハートピア京都 大会議室
- 3 目的 府民運動として食育を推進するため、食育に取り組む団体の代表等が、事例も交えながら、京都の食育の目指す方向について議論を行い、府民へ食育の必要性等の浸透を図る。
- 4 参加者数 約170人
- 5 協賛企業・団体 大阪ガス(株)、関西電力(株)、(社)京都府医師会、(社)京都府歯科医師会、(社)京都府茶業会議所、JA京都中央会、(社)京のふるさと産品協会

6 内容

○基調講演 テーマ：大切！子どもへの食育～大学生の食生活実態から～

◆講師：友藤 弘子 氏 (NPO法人地域に根ざした食・農の再生フォーラム理事)

- ・下宿生だけでなく、自宅生も、食について自立できず、食生活が乱れている。
- ・情報提供や提案などの継続した取組や、学生が参画できる取組が大切である。
- ・大学生の食生活は子ども時代の食習慣がそのまま現れるので、子ども時代の食育が重要である。
- ・学校教育だけが食育の場でなく、家庭教育での食育、社会教育での食育が重要である。
- ・家庭での食育のためには親も変わらないといけない。
- ・食生活にあまり興味がない人に対して、自身の食生活の問題に気づかせ、具体的な対策を一緒に考えるというアプローチが大切だと思う。

○表彰

- ◆食育マスコット デザイン入賞作品
- ◆食育マスコット 愛称入賞作品 「なす坊」
- ◆食育標語入賞作品 「おはようの キミの笑顔と 朝ごはん」

○パネルディスカッション テーマ：子どもへの食育を考える

【パネリストによる報告】

◆十川 洋美 氏 (JA京都中央会専務理事)

- ・日本の食料自給率の低さなど食料に関する問題や、国内農業の現状、農業の多面的機能についても、食育を考える上で再確認することが必要である。
- ・食べ残しなど、食を大切にしないという問題は、生産の過程や生産者の顔が見えないなど、食(消費)と農(生産)の隔たりが原因であり、子ども達に農業や食べ物の大切さを理解してもらうことが必要である。
- ・地産地消が進むことで、子ども達が地元の産物を理解することに結びつけばと考える
- ・JAでは食農教育として、地域や学校、家庭に農業体験や地産地消の取組などを行おうとしている。

◆中村 節子 氏 (京都府教育庁保健体育課指導主事)

- ・食に関する学習は、様々な教科や学級活動、総合的な学習の時間などの中で取り扱われている。
- ・学校給食実施校では、給食の時間が食育の大切な時間であり、地場産物や郷土食を献立に取り入れるなど、学校給食の内容の充実を図っている。
- ・学校で学んだことを家庭や地域で実践し、習慣化していくことが重要で、そのために学校と家庭が一緒になって取り組んでいくことが重要だと考える。

◆伴 亜紀 氏 (宇治田原町立保育所栄養士)

- ・保育所で行った栄養教育によって、小学校での給食の食べ方や栄養教育（食品の3色分類テスト）に差が出た。
- ・無理をせず、イベントではなく、日常的な保育の中で取り組んでいくことが大切である。
- ・子どもが収穫した野菜を持ち帰ることで、家族での会話が増えるなど、家庭での食事や家族の食に対する意識が変わる。

◆藤田 晶子 氏 (リビング京都編集長)

- ・全国の読者アンケートで、「子どもも食事づくりに参加させて食の基本を教える」を理想としている人が67.1%、しかし現実に実行している人は22.5%と落差のある結果となった。
- ・食に関する意識は高い人と低い人が二極分化している。
- ・無関心な人を置き去りにせずに、食の楽しさとか喜びとかおいしさとかを伝えていけるようにしないといけない。

【ディスカッション】

<今里 氏>

- ・消費者と生産者の交流（人と人、心と心の交流）をJAとしてどのように取り組まれるか。

<十川 氏>

- ・子どもに感動を与えるような「ほんまもん」の体験をやりたい。
- ・生産者が学校や子どもに近づいていき、交流を行うことが必要だと思う。

<今里 氏>

- ・保育所での取組の中で子ども達と生産者の会話はどんなものがあったか。

<伴 氏>

- ・生産者の顔が見えることが大事で、生産者の写真を掲示したりすることで、生産者が保育所を訪問した際に、子ども達から声をかけたり、日常の会話に出てくる。

<今里 氏>

- ・生産者が学校の中に入ってきて交流するというような取組は？

<中村 氏>

- ・京都府では、「いただきます。地元産」プランを進めており、組織的に野菜等を納入する地域も出てきている。児童が学校に来た生産者に声をかけたり、生産者に栽培活動等の指導をいただいたりということもある。

<今里 氏>

- ・食に対して関心がない人に、どうやって情報を伝えていけばよいか。

<藤田 氏>

- ・わかりやすく、楽しく伝えていくしかないと思うが、「親が食に割く時間や余裕がない」などの社会の状況や、「無農薬の野菜を買いたいけど高い」などの現実を考えていかなないと、きれいごとばかりでは受け入れられない。

7 参加者アンケートの主な意見（自由意見より）

- 子どもの食育は家庭からと言われるように、親に対する教育が大切だと思います。食品事業者や行政、企業が連携し、様々なアイデアを出し取り組みやすい内容の提案が必要だと思います。（興味のない人が参加してみようかなあと思えるもの）
- より参加型・体験型の（友藤さんがされてきたような）実践的なイベントを行っていただけるとよいのではないかと思います。
- ごく普通の専業主婦として参加しました。家庭への啓発を働きかける機会が増えるとうよいなと思います。食育は子どもの行動にとっても影響し、とても大切な事だという意識が広がればよいなと思っています。
- 学校、保育所等の教育機関で、食育を体験的に深めていくことを望む。

[参 考]きょうと食育支援情報 利用実績 (会員団体及びその構成団体等からの依頼)

会員団体名	活動概要	依頼元	依頼内容
社団法人 京都府栄養士会	食生活指導・資料等提供	近畿農政局	平成19年8月24日米粉料理レシピ作成
		近畿農政局	平成20年3月8日ビジネスマン・OLのためのごはん食セミナー 内容:料理・講演講師 5名派遣
		京都府、各大学	大学献血栄養相談 平成19年9月25日～12月13日(23回) 内容:大学献血実施者への栄養相談 延べ担当者45人派遣
		京都府医師会	平成19年9月15日、16日 第34回くらしと健康展 対象:府民、市民 内容:食生活診断、栄養相談 担当者15名派遣
		京都府医師会(南区医師会)	平成19年10月20日 みなみ健康まつり「笑って食べて健康に」 対象:府民、市民 内容:食生活診断、電子紙芝居
		京都市	平成19年11月3日京・食のフォーラム参加「あなたもきっと魚が好きになる」 対象:府民、市民 担当者9名派遣
		京都府保育協会	平成19年12月13日14:00-16:30児童福祉施設給食関係者研修会「子供の食物アレルギーと給食」 担当者3名派遣 参加者:121名
		京都新聞社	「受験生の食生活について」記事依頼 「便秘予防の食生活」記事依頼
		京都リビング新聞社	「蒸し物料理について」記事依頼
		京都府歯科医師会(下京区)	平成19年11月11日11:00-15:00下京ふれあい広場 歯のひろば「歯と栄養」 内容:栄養相談 2名派遣
京都府農業会議	全国農業新聞での紹介	京都府	平成19年11月9日付全国農業新聞地方版(全国配布) 「きょうと食育強化月間」の記事と17日の食育シンポジウムの紹介
社団法人京のふるさと産品価格流通安定協会	京の伝統野菜にかかわる資料提供・講師派遣	京都女子大学家政学部食物栄養学科	平成19年11月16日(金)9:00-15:00 「京野菜を使った調理実習～京の食文化と伝承～」 講師派遣:協会職員1名、京野菜マイスター1名 ・京都女子中学・ウイステリアコース2年生 約40名 ・京都女子大学家政学部食物栄養学科4年生 約20名 ・教員 等 ○参加者に京野菜レシピ、京の伝統野菜パンフレット提供

会員団体名	活動概要	依頼元	依頼内容
聖母女子短期大学 食品学研究	食育紙芝居の巡回	京都市、京都新聞社、KBS京都	平成19年11月3日12:00-16:00京・食のフォーラム 内容:「食育紙芝居」「食育講座」 学生40名派遣
		京都生活協同組合	平成20年2月23日10:30-12:00商品大交流会 内容:「食育紙芝居」「食育講座」 学生20名派遣
		京都市(ごみ減量めぐる君推進会)	平成20年3月9日13:30-16:00リサイクル連続講座 内容:「食育紙芝居」「食育講座」 学生10名派遣
京都府生活協同組合連合会	食の安心・安全に関わる講演	京都府農業会議	平成20年3月19日(水)14:30-16:00 講演テーマ:食の安心・安全 講師:坂本茂 対象者:京都府農業会議会議員
食育キャラバン隊	保育園(保育所)、幼稚園における食育推進支援	大宮保育園	平成19年10月13日(土)13:30~14:30(大宮保育園) 「大宮まつり」(バザー)の中で「おひさまパワー号のおはなし」を実演。隊員4名を派遣。
		ひかり幼稚園	平成19年10月20日(土)11:30~12:30(ひかり幼稚園) 「ひかり幼稚園のバザー」の中で「たろうくんとじろうくんのおはなし」を実演。隊員6名を派遣。
		京都市健康増進課	平成19年11月3日(土)13:50~14:10(みやこめっせ) 「京(みやこ)・食の環境づくりフォーラム2007」で「おひさまパワー号のおはなし」を実演。隊員6名を派遣。
		洛中小学校	平成19年11月27日(火)10:50~11:35(洛中小学校) 1、2年生を対象に授業の一環として「大根のおはなし(小学生向け)」を実演。隊員4名を派遣。
		アヴェマリア幼稚園	平成20年1月16日(水)11:00~12:00(アヴェマリア幼稚園) 食育2年目の「大根のおはなし」を実演。隊員3名を派遣。
		中丹東保健所食生活改善員研修会	平成20年2月1日(金)13:00~16:00(綾部市) 「保育園での食育活動について」実演と講演。隊員4名を派遣。
		洛中小学校	平成20年2月13日(水)5・6時限(三条猪熊・なかい) 6年生を対象に授業の一環として「おもてなしの心」 平成20年3月5日(水)5・6時限(三条猪熊・なかい) 6年生が授業の一環として、保護者や地域の方々に町家に迎え、お礼の気持ちをこめておもてなしをした。

[参 考] 会員団体のお知らせ実績(ホームページ及びメールマガジン掲載分)

年	月	団 体 名	タ イ ト ル
19	8	京都市中央卸売市場協会	京都市中央卸売市場夏まつりの開催
		京都市	食育コンテスト「わくわくこんだてじまん(朝ごはん)－元気のもと朝ごはん－」募集中
19	9	京都市中央卸売市場協会	市場見学会 参加者募集
		京都市中央卸売市場協会	市場開設80周年 食のシンポジウム 参加者募集
		京都府私立中学高等学校連合会	「第6回京都府私立中学高等学校教育研究大会」参加者募集
		京都府立大学食事学研究室	「ひらめき☆ときめきサイエンス」の参加者募集
		京都府栄養士会	第27回健康づくり提唱のつどい「共に食べる、共に育つ」
		京都府生活協同組合連合会	「2007 京都 たべるたいせつフォーラム」参加者募集
19	10	京都市	「京(みやこ)・食のフォーラム2007」の開催について
19	11	(社)京のふるさと産品価格流通安定協会	京野菜検定 受験者募集中
		京都府栄養士会	「第5回いきいき健康フェア」
		聖母女子学院短期大学食品学研究室	健康check&食生活check
		近畿農政局	「農・食・健連携 ごはん食シンポジウム」開催のお知らせ
		近畿農政局	食育シンポジウム「実践的食育講座『“食べる”ってどういうこと?』」の開催
		京都市	「京の農林秋まつり」を開催します
19	12	(社)京のふるさと産品価格流通安定協会	京野菜マイスター募集
20	1	同志社大学大学院総合政策科学研究科	公開講演会「スローフードの思想と運動」開催
		近畿農政局	近畿農政局「移動消費者の部屋」のご案内「テーマ:ご存じですか?食育のポイント「教育ファーム」・「食事バランスガイド」」
20	2	(社)京都府薬剤師会	府民公開講座「漢方薬とメタボリックシンドローム」開催について
		NPO法人 コンシューマーズ京都	食と農のひろば「私たちは、いつまで食べ続けられるのか?」
		近畿農政局	「ビジネスマン・OLのためのごはん食セミナー」の開催について
		近畿農政局	「地場産食材をテーマにした現地見学&料理教室」の開催について
		近畿農政局・京都府	食育推進セミナー「五感を使った食育の推進に向けて」
20	3	同志社大学大学院総合政策科学研究科	「つくだ有機農業塾」の受講者募集
		京都市・京都市中央卸売市場協会	平成20年度「食の海援隊・陸援隊」(京都市中央卸売市場会員)の募集について